



かなざきひさを応援する会 会報 46号 事務局 上山口 1878 番地の 9 Tel&Fax 878-7961 かなざきひさの携帯 090-4076-2425
E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

ご挨拶

会員各位

平成 24 年の年明けいかがお過ごしでしょうか。今年こそ明るい年になるよう祈ってやみません。葉山にとっても年明け早々町長選挙があり、葉山の将来を見据える大切なものとなります。かなざきひさを応援する会としては、伊東圭介氏を推薦することといたします。なお、12 月の臨時議会におきまして、かなざきひさは副議長に就任いたしました。今後ともよろしくお願いたします。

かなざきひさを応援する会 会長 鈴木勇
金崎ひさ

葉山町議会平成 23 年第 4 回定例会が開催されました。

(期日平成 23 年 11 月 29 日～12 月 9 日)

森町長に対し再び、問責決議

・12 月 8 日、横須賀市及び三浦市から損害賠償請求されていたごみ裁判の判決が下されました。結果は横須賀市に 330 万円、三浦市に 65 万円、葉山町が支払うというものでした。今議会においても、絶対に負けないと豪語していた森町長ですが、このような結果に至っても反省の弁の一言もありませんでした。議会意思を無視し、町長独断で広域離脱を決め、両市に理解を求めるともせず、裁判をおこされたのは自業自得です。そのことにより、すでに支払済みの弁護士費用 450 万円を含め、財政負担は数千万円が見込まれます。これほど町民に迷惑をかけた行為を「私は町民に選ばれた町長だから」という答弁には呆れ果ててしまいました。その責任を、森町長を選んだ町民に転嫁しようとする態度は許せません。よって、新葉クラブの発案で森町長に対する問責決議案を提出し、賛成多数で可決されました。反対者は窪田議員一人でした。4 年間に 2 度の問責決議が提出された町長も前代未聞です。

12 月 15 日 (木) 議員懇談会

町長はこの判決を不服として控訴すると決断しました。この席上、弁護士同伴の上、内容の説明を行い、更にこの裁判の行く末を見守る必要があり、次期町長選挙に立候補の意向を固めたとの報告もありました。控訴は議会の議決事項であり、12 月 20 日 (火) 14:00～臨時会が開催され、そこで、決定します。

葉山町議会第 2 回臨時会が開催されました。(期日平成 23 年 12 月 20 日)

・ごみ裁判の控訴について

12 月 15 日の議員懇談会の説明どおり、控訴をしたいとの提案説明がありましたが、賛成少数で否決されました。私は否決の判断をいたしました。その理由としては以下の点です。

*近隣自治体との失った信頼を回復するために、葉山町から勝目のうすい喧嘩を売るようなことは控えた方がよい。

*横須賀・三浦両市から控訴されると、必ず応訴しなければならない。その場合、初公判は 3 月頃となり、新町長の才覚のもと、どうしても控訴が必要となれば、付帯控訴ができる。

*新町長のもと、ごみ行政について近隣市との話し合いのテーブルについてもらいたい。その際、横須賀三浦両市で建設予定のごみ焼却炉の環境アセスメントが葉山町も含まれており、交渉のカードとして有効である。

*森町長の独断で、議会を無視してなされた結果での財政負担は町民に課すべきではない。森英二氏個人が行うべきである。しかし、本人はその責任を感じていない。

○ かなざきひさの一般質問

(1) 町長マニフェストの達成度について

森町政が4年の任期満了に伴い、その自己評価について質問をいたしました。

質問と提案	町長の答弁
町長マニフェストの達成度についての自己評価を伺う。	80%達成したと考えている。
40数項目のマニフェストを掲げていたので、その80%とは35項目位達成していなければならない。実際には議会のインターネット中継など数項目であるので、その達成度は8%と思うが。	実際にはそぐわなかったマニフェストもあり、それらを外すと80%である。
この程度の行政運営で80%の自己評価をすること自体、自分に甘く、葉山町にとって失われた4年間であったと言わざるを得ない。	それは的を射た判断ではない。
<p>かなざきひさの考え 森町政は葉山町にとっても町民にとっても不幸な4年間であったと思います。森町長のトップとしての無責任さと能力不足で、県及び近隣自治体との信頼関係が低迷しており、次期町長はこの信頼回復に最大限の努力が必要です。聞こえの良いマニフェストを掲げて、町長の席を得、できないことであったからといって撤回するのは、町民を愚弄するものです。町民の皆様には言葉に惑わされることなく、その人の本質を見て、町長にふさわしい人を選んでいただきたいと思います。誠実さのかけらも見当たりません。誠実とは字のとおり言ったことを実行することです。</p>	

(2) 次期町長に申し送りすべき事項について

町長マニフェストには「1期4年に全力投球、次代の町長を養成する」とあります。政治の継続性の観点からの質問をいたしました。

質問と提案	町長の答弁
かつての町長答弁等の実現に向けて、次期町長に申し送りすべきことを伺う。	次期選挙に立候補しないで、1期4年で終わるとは明言していない。 (12月15日立候補宣言しました)
またもやマニフェストを覆すおつもりなのか。(やはりマニフェストはお飾りでした)ごみ焼却炉の廃炉を決めたが、議会から出されている決議の対応はどのようにするのか。	どのような内容の決議が分からない。
議会はまじめに決議を上げているのに、そのようなことではとても信頼できない。「葉山町ごみ処理基本計画の修正に際しては丁寧な説明を行うよう求める決議」と「葉山町のごみ処理を近隣自治体との協力を基本に行うことを求める決議」だ。	頭には入っているが、炉を休止し民間に委託している現況を述べただけだ。
ごみ処理基本計画には炉を使い続ける年次計画が示されている。その変更が必要ではないか。	当然修正することはやぶさかではない。
焼却炉バグフィルターのろ布を買い置きしている。その金額は819万円であり、焼却炉が休止しているにもかかわらず購入している。無駄遣いだと思わないのか。廃炉になったらこれはどうするのか。	それはもう使用しないことは当然である。
横須賀・三浦両市の焼却炉建設の3キロ圏内に葉山町の木古庭・上山口・下山口が入っており、環境アセスの対象圏である。ご感想は。	まだよく読んでいないが、意見を述べてくれとの要望がきている。
ごみ行政に関する交渉のカードにするお積りは。	直接物申すことは差し控えた方がよい。
近隣市との調整はトップとしての大切な仕事である。このようなことを考える能力もないのか。	環境アセスとは全くかわりのないことである。
し尿処理施設については白紙状態なのか。	県と相談中である。
市街化調整区域の水処理について、今回全体計画を41ヘクタール縮小したが、下水道審議会の答申を受けなくても、町長一存で変更できる事案であるなら、なぜ就任直後に行わなかったのか。	5年ごとに開催される下水道審議会に合わせた。
市街化区域の80%の整備が終わらないと、市街化調整区域の整備にかかれないうことは御存知か。	承知している。
では何年先に市街化調整区域の整備にかかれるのか。全体計画の中に組み込んでいること自体まやかしかであり、町長マニフェストとの整合性はどうなっているのか。	市街化調整区域にまで工事がいくのはもっと先になるので、時間的には何も問題はない。
約束である障害者グループホームへの町有地提供についての申し送りは。	前向きに積極的にとらえていきたいと答弁したことであり、誰が次期町長になっても是非引き継いでいきたい。
<p>かなざきひさの考え 議会は行政を監視するためにしっかりと考えて提出した決議等が全く念頭になく、自分勝手に行政運営を続けている森町長にうんざりしております。議会無視の言動は留まるどころを知りません。本当に考える能力がないのか、あるいは意識的に策略しているのか。葉山町にとって大切な質問でしたが、この会報をつくるにあたり、じっくりと議事録を読んでみましたが、やはり全くかみ合わない町長答弁が続いておりました。</p>	

